

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和6年度においては、次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、新大学キャンパスのエントランス部分の木質化を実施しました。
- また、区役所や本庁舎といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、椅子、屋外ウッドデッキ等の整備を実施しました。

□ 事業内容

国産木材を活用した東成区役所庁舎整備事業（施設名 東成区役所）

- 庁舎の木質化・木製什器の導入を行い、来庁者が木材を身近に感じてもらえる空間づくりを行った。また、案内サインの見直しも行い、来庁者にとってわかりやすく、快適で利用しやすい区役所づくりのための整備を行った。

【事業費】45,613千円（うち譲与税 45,613千円）

【実績】柱面等木質化、カウンター、記載台、ベンチ等の導入



□ 事業スキーム

- 公募型プロポーザル事業

□ 工夫・留意した点

- 庁舎の木質化・木製什器の導入を行い、来庁者が木材を身近に感じてもらえる空間づくりを行った。
- 案内サインの見直しも行い、来庁者にとってわかりやすく、快適で利用しやすい区役所づくりのための整備を行った。



□ 基礎データ

①令和6年度譲与額：337,851千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より